



予防と治療

- ① 菌核病、② 腐敗病などの病害は、予防を徹底しましょう。
生育初期に病気が発生した場合は、巻末ページの農薬一覧を参考に、
見つけ次第早めの防除が肝心です。

発生初期で抑えられない場合は、系統の異なる薬剤を選び、
ローテーション散布を行いましょ。同じ作用機構の農薬を
使うと、薬剤耐性菌が発達しやすく、効果が低下する恐れが
あります。



※ここでは節減対象農薬以外の予防剤のみ
記載しています。治療剤含む農薬リストは
巻末の農薬一覧を参照してください。

③ ウイルス病

■ ビッグベイン病



発生生態

- ・土壌に生息する糸状菌が媒介し、長期にわたり土壌伝染する
- ・症状は15～20℃で明瞭となり、20℃以上では不明瞭となるため、冬季に発生する

対 策

- 発生圃場で使用した農機具・機械類の洗浄を徹底する
- 多発圃場では、太陽熱・薬剤による土壌消毒を行う
- 抵抗性品種を選択する

■ モザイク病



発生生態

- ・圃場周辺のハウレンソウ、アワユキセンダングサ等のキク科雑草に寄生し、これらが伝染源となる
- ・アブラムシが媒介し汁液・種子伝染するが、土壌伝染はしない

対 策

- アブラムシの防除を徹底する
- ウイルスの発生源となる雑草防除を徹底する
- 罹病葉は早急に抜き取り、処分する

アワユキセンダングサのモザイク症状

ウイルス病を治す農薬は
ありません！

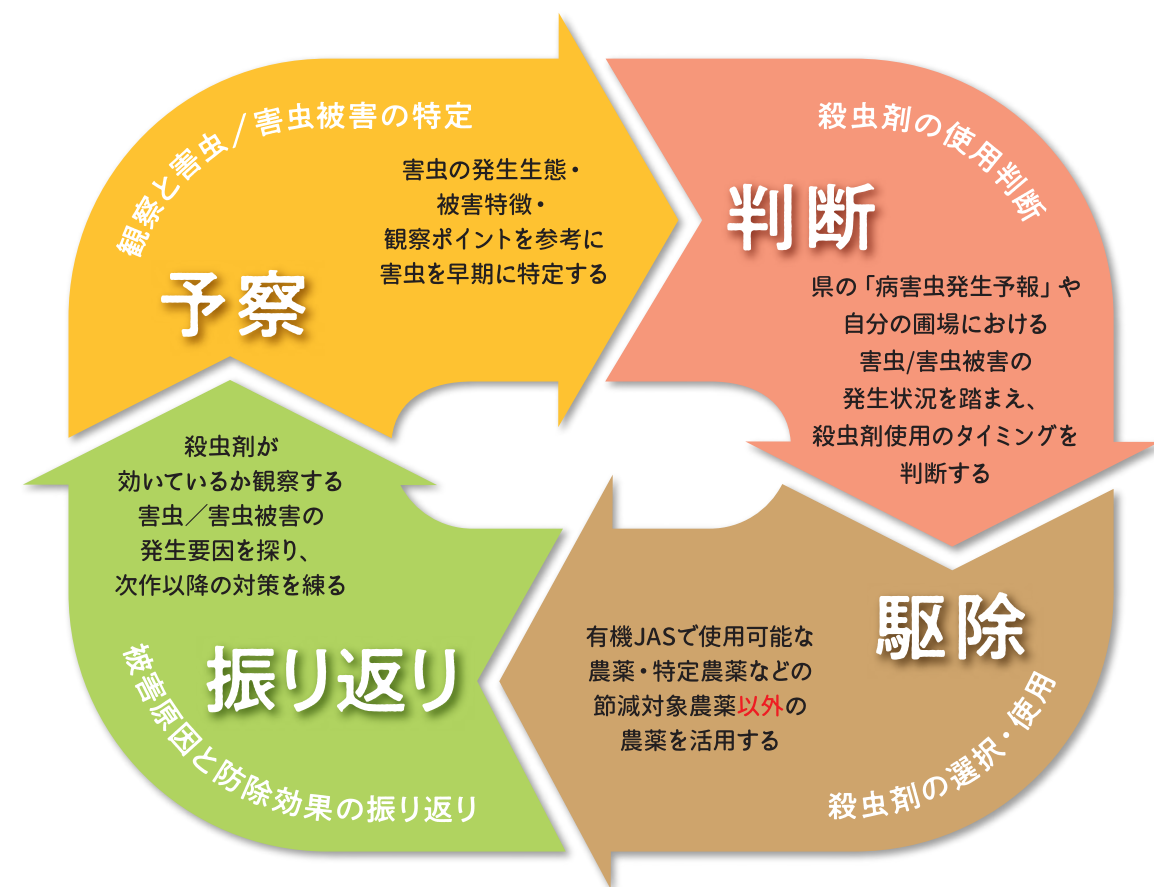


Point
02

防除 増やさない! : 害虫の防除



ここでは害虫が発生してしまった場合の「増やさない」取り組みを紹介します。
害虫の防除においては、以下の「予察」「判断」「駆除」「振り返り」のサイクルを徹底しましょう。



POINT! 農薬選択のポイント

1. 節減対象農薬以外の農薬

- ・気門封鎖剤などの節減対象農薬以外の農薬は使用回数制限がなく、薬剤抵抗性がつきにくいので、積極的に活用し、害虫密度を初期のうちに減らしておきましょう。
- ・ただし、使用回数制限がない農薬でも、特裁で節減対象となる(使用回数がカウントされる)農薬があります。沖縄県の節減対象農薬以外の農薬一覧を確認しましょう。

2. 病害虫の見極めと効果的な農薬の選択

- ・レタスで特裁基準を達成するには、節減対象成分使用回数を7回に抑える必要があります。予察・判断を徹底した上で、病害虫被害が発生したら、対象病害虫に効果的な農薬を選択しましょう。
- ・また、前作で病害虫被害が発生した場合は、播種時に粒剤等を使用するなど予防を心掛けましょう。



POINT! 気門封鎖剤の使い方

- ・薬剤が十分かかるように、ムラなく葉裏も含め丁寧に散布
- ・物理的に対象害虫を気門封鎖で窒息死させる剤であり、直接かからないと防除効果が発揮されない
- ・対象害虫の密度が上がる前に散布
- ・発生密度が高い場合は散布間隔を短くする

沖縄県の節減対象農薬以外の農薬一覧をチェック!



レタスの主要害虫と観察ポイント

「増やさない」サイクルのうち、害虫の発生を初期で抑えるための「予察」ポイントを取り上げます。害虫被害が発生しやすい箇所と症状を把握しましょう。

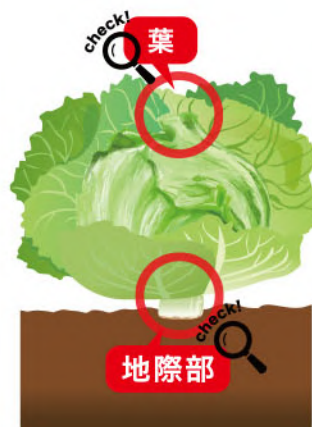
①

アブラムシ類



沖縄県病害虫防除技術センター提供
多発すると虫の抜け殻やすず病が現れる。内側の葉に、死骸が見つかることもある。

詳しくは p.23



②

ハスモンヨトウ



幼虫が葉を食害する。集団で加害し、葉をひどく食い荒らしてボロボロにする。

詳しくは p.24

主な害虫の発生生態と対策

①

アブラムシ類



沖縄県病害虫防除技術センター提供
葉裏に密集して生息
成虫で1~4mm

発生生態

- ・年間多くの世代を繰り返し、ウイルス病を媒介する
- ・個体密度が高くなったり、作物の栄養条件が悪くなったりすると有翅虫が出現し、ほかの作物に移動分散する

対策

- 発生源となる圃場周辺の雑草を除去し、被害残渣を処分する
- シルバーマルチを使用し、飛来を忌避して蛹化を防止する
- 繁殖力が著しいため初期防除に努める

アブラムシ類の防除に使用できる節減対象農薬以外の農薬(※1)

IRACコード	系統名	農薬名
UNF	微生物	ボタニガードES
—	気門封鎖剤	サフオイル乳剤、サンクリスタル乳剤

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.18参照)

※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がレタス、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

②

ハスモンヨトウ



発生生態

- ・雑食性で多くの作物を加害する
- ・若齢期は集団で葉裏にいるため見つけにくい

対策

- 圃場内および周囲の除草作業を初期から行う
- 老齢幼虫は防除が難しいため、早期防除に努める

ハスモンヨトウの防除に使用できる節減対象農薬以外の農薬(※1)

IRACコード	系統名	農薬名
11A	BT剤	サブリナフロアブル、ゼンターリ顆粒水和剤、デルフィン顆粒水和剤、バシレックス水和剤
UN	微生物	バイオセーフ

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.18参照)

※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がレタス、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

事例紹介

沖縄本島南部に設置したモデル圃場における農薬散布実績を特別栽培区(特裁区)と慣行栽培区(慣行区)についてご紹介します。

農薬散布実績

栽培概要	:13ページ参照
散布期間	:1作目:2023/10/10~11/22 :2作目:2023/12/2~1/31
節減対象農薬使用回数	:1作目:4回、2作目:3回 慣行基準(15回)の50%(7回以下)削減で特裁基準達成
特裁区における対策	節減対象農薬以外の農薬を中心に散布したことで、節減対象農薬の使用回数を抑えることができた。銅剤(今回はクプロシールド使用)を予防として雨天時の前後に散布し、ハスモンヨトウ等幼虫が発生した際にはBT剤(今回はデルフィン顆粒水和剤使用)を初期に散布した。

レタスのモデル圃場(南部)における時期別農薬散布状況の比較

■1作目

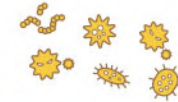
散布時期	対象	特裁区	特裁区における特記事項	慣行区
定植時	アブラムシ類等	①プリロッソ粒剤オメガ	—	①アルバリン粒剤
外葉形成期	腐敗病	クプロシールド	雨天前後に予防散布	
	菌核病等	—	—	②アミスター20フロアブル
	アブラムシ類等	サフオイル乳剤	—	③アディオソ乳剤
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ等	デルフィン顆粒水和剤	—	④アフーム乳剤
	菌核病等	②アミスター20フロアブル	—	
	べと病等	—	—	⑤ダコニール1000
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ等	—	—	⑥フェニックス顆粒水和剤
球肥大期	アブラムシ類	③コルト顆粒水和剤	—	⑦コルト顆粒水和剤
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ等	④プレバソフロアブル5	—	⑧ディアナSC
節減対象成分使用回数		4回		8回
使用した節減対象農薬以外の農薬の種類		3種類		

■2作目

散布時期	対象	特裁区	特裁区における特記事項	慣行区
定植時	アブラムシ類等	①プリロッソ粒剤オメガ	—	①アルバリン粒剤
外葉形成期	腐敗病	クプロシールド	雨天前後に予防散布	
	べと病等	—	—	②ダコニール1000
	アブラムシ類等	サフオイル乳剤	—	③アディオソ乳剤
	菌核病等	②アミスター20フロアブル	—	④アミスター20フロアブル
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ等	—	—	⑤アフーム乳剤
球肥大期	アブラムシ類	サフオイル乳剤	—	⑥コルト顆粒水和剤
	オオタバコガ、ハスモンヨトウ等	③プレバソフロアブル5	—	⑦ディアナSC
	アブラムシ類	—	—	⑧モスピラン顆粒水溶剤
節減対象成分使用回数		3回		8回
使用した節減対象農薬以外の農薬の種類		2種類		

※表中、特裁区欄の緑色は節減対象農薬以外の農薬を示す。

レタスの主要病害登録殺菌剤一覧



F R A C コード	系 統 区 分	病 害 虫 名	ビ ッグ ベ イ ン 病	菌 核 病	腐 敗 病	節減対象農薬 以外の農薬（※）／◎
		農 薬 商 品 名				
3	EBI	モンガリット粒剤	●			
11	オキシムエーテル	ファンタジスタ顆粒水和剤		●		
7	カルボキシアミド	カンタストライフロアブル		●		
31	キノロン系	スターナ水和剤			●	
31、M1	キノロン系、有機銅	ナレート水和剤			●	
M7	クアニジン	ベルコート水和剤		●		
2	ジカルボキシイミド	ロブラール水和剤		●		
		スミレックス水和剤		●		
11	ストロビルリン	アミスター20フロアブル	●	●		
		メジャーフロアブル		●		
		スクレアフロアブル		●		
11、7	ストロビルリン、カルボキシアミド	シグナムWDG		●		
8F	その他	キルバー	●			
7	チオフェン系	アフエットフロアブル		●		
7、M5	チオフェン系、有機塩素	ベジセイバー		●		
7	ピラジンビフェニル型カルボキサミド	バレード20フロアブル		●		
29	ビリジナミン	フロンサイドSC	●			
		フロンサイド粉剤	●			
7	フェナシルアミド	ケンジャフロアブル		●		
10、2	N-フェニルカーバメイト、ジカルボキシイミド	スミブレンド水和剤		●		
10、1	N-フェニルカーバメイト、ベンズイミダゾール	ニマイバー水和剤		●		
1	ベンズイミダゾール	トップジンM水和剤	●	●		
		ベンレート水和剤		●		
U18	抗生物質	バリダシン液剤5			●	
ポリオキシソリンAL水溶剤「科研」			●			
ポリオキシソリンAL水和剤			●			
41、25	抗生物質、抗生物質	アグリマイシン-100			●	
24、M1	抗生物質、無機銅	カスミンボルドー			●	◎ 回数制限あり
		カップバーシン水和剤			●	
NC、M1	炭酸水素塩、無機銅	ジーファイン水和剤			●	◎
P2	抵抗誘導	オリゼメート粒剤			●	
NC	微生物	マスタピース水和剤			●	◎
M1	無機銅	Zボルドー			●	
M5	有機塩素	ダコニール1000	●			
8B		クロールピクリン	●			
M4、M1	有機塩素、有機銅	オキシラン水和剤			●	
M1	有機銅	ヨネボン水和剤			●	

※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.18参照)

※ 表の農薬は、令和6年版病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名が野菜類、レタスで当該病害に適用があるものを記載しています。

※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

レタスの主要害虫登録殺虫剤一覧



I R A C コ ー ド	系 統 区 分	病 害 虫 名 農 業 商 品 名	ア ブ ラ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	節 減 対 象 農 業 以 外 の 農 業 (※1) ○
11A	BT	サブリナフロアブル ゼンターリ顆粒水和剤 デルフィン顆粒水和剤 バシレックス水和剤		●	○
—	気門封鎖剤	オレート液剤 ムシラップ 粘着くん液剤 フーモン エコピタ液剤 サフオイル乳剤 サンクリスタル乳剤	●		○
	脂肪酸(気門封鎖剤)	ボタニガードES バイオセーフ	●	●	
UNF	微生物	グレーシア乳剤		●	
30	イソオキサゾリン	トルネードエースDF		●	
22A	オキサダイアジン	ランネット45DF	●		
18	ジアシルヒドラジン(IGR脱皮促進)	ロムダンフロアブル		●	
28	ジアミド系	プレバゾンフロアブル5 プリロッソ粒剤オメガ ベネビアOD ベリマークSC ヨーバルフロアブル フェニックス顆粒水和剤 キックオフ顆粒水和剤	●	●	
28、4A	ジアミド系、ネオニコチノイド	ジュリボフロアブル ミネクトデュオ粒剤	●	●	
5	スピノシン	ディアナSC		●	
4C	スルホキシイミン	トランスフォームフロアブル	●		
9B	その他	コルト顆粒水和剤	●		
30		プロフレアSC		●	
22B		アクセルフロアブル		●	
4A	ネオニコチノイド	モスピラン粒剤 モスピラン顆粒水溶剤 アドマイヤー1粒剤 アドマイヤーフロアブル アドマイヤー顆粒水和剤 ダントツ水溶剤 ダントツ粒剤 アルバリン粒剤 アルバリン顆粒水溶剤 スタークル粒剤 スタークル顆粒水溶剤	●	●	

- ※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.18参照)
- ※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がレタス、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。
- ※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

I R A C コ ー ド	系 統 区 分	病 害 虫 名 農 業 商 品 名	ア ブ ラ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	節 減 対 象 農 業 以 外 の 農 業 (※1) ○
4A	ネオニコチノイド	アクタラ粒剤5 アクタラ顆粒水溶剤 ベストガード水溶剤 ベストガード粒剤	●		
28、4A	ジアミド系、ネオニコチノイド	アベイル粒剤	●		
14	ネライストキシン	パダンSG水溶剤 リーフガード顆粒水和剤	●		
14、UN	ネライストキシン、プロベニルオキシフェニル	スクリューパーンチWDG	●	●	
29	ピリジカルボキサミド系	ウララDF	●		
3A	ピレスロイド	トレボンEW トレボン乳剤 アグロスリン水和剤 アグロスリン乳剤 マブリック水和剤20 アディオン乳剤	●		
3A、1B	ピレスロイド、有機リン	ハクサップ水和剤	●		
13	ピロール	コテツフロアブル		●	
21A、FRAC:39	フェノキシベンジルアミド	ハチハチフロアブル ハチハチ乳剤	●		
21A、22B	フェノキシベンジルアミド、その他	アクセルキングフロアブル	●	●	
UN	プロベニルオキシフェニル	プレオフロアブル		●	
15	ベンゾイル尿素(IGR脱皮阻害)	石原アタブロン乳剤 ノーモルト乳剤 カウンター乳剤 カスケード乳剤		●	
6	マクロライド	アフーム乳剤 アニキ乳剤		●	
23	環状ケトエノール	モベントフロアブル	●		
1B	有機リン	エルサン乳剤 エルサン粉剤2 オルトラン水和剤 マラソン乳剤	●	●	

- ※1 特別栽培において、節減対象とならない(使用回数がカウントされない)農薬として有機JAS規格で使用可能な農薬及び特定農薬等があります。(詳細はp.18参照)
- ※ 表の農薬は、令和6年度病害虫防除の手引き(沖縄県植物防疫協会)を参照し、作物名がレタス、野菜類で当該害虫に適用のあるものを記載しています。
- ※ 農薬登録内容は令和6年2月14日時点の情報に基づく。
農薬登録は随時更新されるので、農薬の使用にあたっては、必ず最新の農薬登録情報を確認すること。

本マニュアルは、

特別栽培農産物認証等推進・普及事業（沖縄振興特別推進交付金）における

特別栽培農産物認証の栽培マニュアル作成委託業務（委託先：株式会社マイファーム）の

成果を活用して作成しました。

本マニュアルを作成するにあたり、下記の方々をはじめ、

多くの方々や関係機関にご協力を賜りました。

心より感謝申し上げます。

五十音順、県関係者の所属は省略

＜情報・データ提供＞

沖縄協同青果株式会社

沖縄県農業協同組合農業 振興本部営農販売部（青果）・生産資材部

スガノ農機株式会社

第一農薬株式会社

琉球産経株式会社

琉球肥料株式会社

＜写真提供＞

沖縄県植物防疫協会

＜編集協力＞

沖縄県農林水産部

営農支援課農業革新支援班

農業研究センター

北部農林水産振興センター農業改良普及課

宮古農林水産振興センター農業改良普及課

八重山農林水産振興センター農業改良普及課

南部農業改良普及センター

病虫害防除技術センター

安次富 厚氏

棚原 尚哉氏

上里 卓己氏

比嘉 基晶氏

上原 弘樹氏

儀間 靖氏

神里 春樹氏

長浜 隆市氏

喜久村 智子氏

細川 理恵氏

座波 幸司氏

宮城 明生氏

島谷 真幸氏

宮城 徳道氏

我那覇 啓氏

粟國 佳史氏



令和7年発行

沖縄県特別栽培農産物栽培マニュアル 作物編 レタス

監修・発行 沖縄県農林水産部営農支援課
沖縄県那覇市泉崎1-2-2
TEL: 098-866-2280

編集 株式会社マイファーム

意匠・印刷 カラーズプロダクション